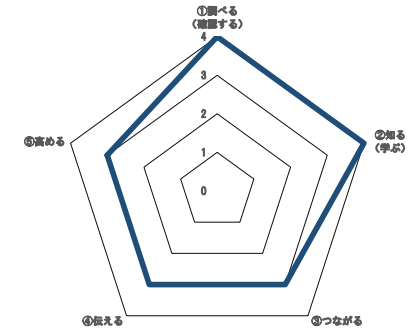


登別小学校区

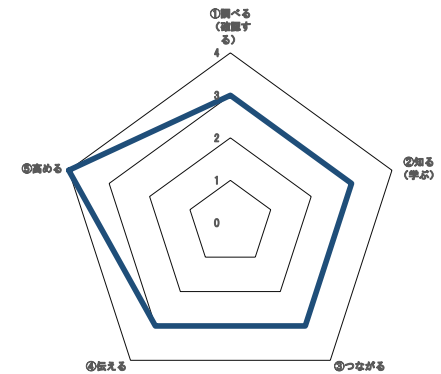
校区活動(校区きずな推進委員会、住民座談会)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	○年2回の校区推進委員会の開催や、住民座談会の開催により、地域の実情を確認し、今後の活動について検討する機会を設けることができた。	4	○今後も地域の実情を把握し、活動検討に活かすことのできる機会として展開していく。
②知る (学ぶ)	○住民座談会の開催により、地域内で行われている活動や、地域住民が抱える生活課題等について話し合う中で学ぶことができた。	4	○今後も推進委員や地域住民で、校区活動について学び考えていく機会とする。
③つながる	○校区あいさつ一斉運動や見守り運動等の活動を通し、地域のつながりが深まった。 ○住民座談会への地域包括支援センターの参加をはじめ、関係機関とも連携しながら校区活動を推進することができた。	3	○校区活動を通じて、地域のつながりづくりを今後も目指していく。 ○関係機関や専門職と連携を図りながら、校区活動を推進していく。
④伝える	○住民座談会の場できずな活動についての周知を行っているが、参加者以外の地域住民にも広く浸透させていく必要がある。	3	○今後も地域住民と関わる機会等を活かし、丁寧に伝えていく。
⑤高める	○校区推進委員会への参加率が高くない現状だが、校区の福祉活動について熱心な話し合いを行うことができ、前進につながった。	3	○校区推進委員内での意思疎通を図りながら、より良い校区活動の推進を目指し今後も検討を重ねていく。



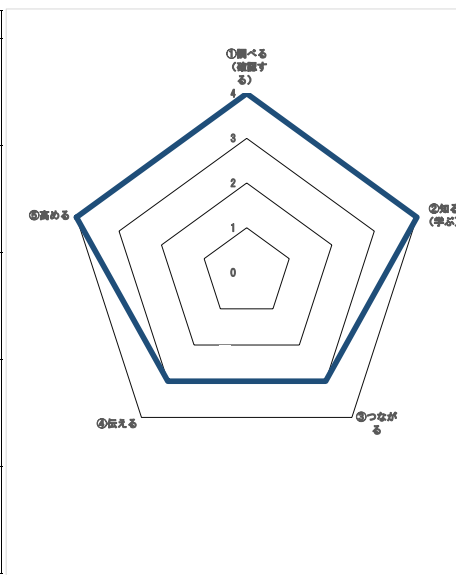
日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動の充実)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	○小地域ネットワーク活動は校区内13単位町内会で取り生まれ、実施率も72.2%まで上がっている。	3	○校区内全町内会の普及に向け、PRしていく必要がある。
②知る (学ぶ)	○住民座談会や民生委員・児童委員の会合等で、取り組みについて知ってもらう機会を設けることができた。	3	○今後も住民や関係機関に広く知ってもらうよう、取り組んでいく。
③つながる	○キットの配布にあたっては、町内会のみならず、民生委員・児童委員とも連携を図りながら行うことができた。	3	○小地域ネットワーク活動を通じて、関係機関や団体とのつながり強化を図っていく。
④伝える	○住民座談会や民生委員・児童委員の会合等で、取り組み内容や日頃からの備えの必要性を伝えることができた。	3	○継続して取り組みの必要性を広く伝えていく。
⑤高める	○小地域ネットワーク活動の推進により、日頃からの備えや見守り体制の強化を図ることができた。	4	○今後も継続して行っていく。



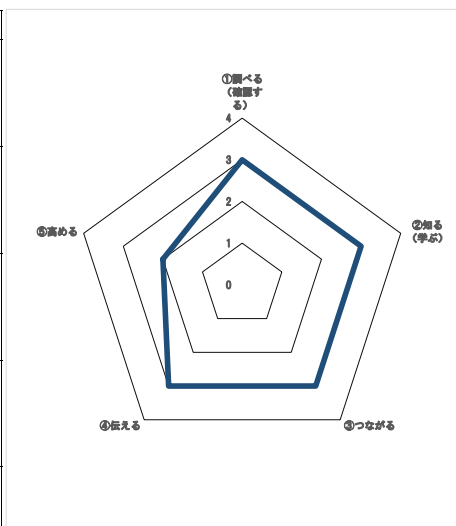
居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあいいきいきサロン、ふれあい会食会)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	○ふれあいいきいきサロンとして登録している箇所数は減少するも、活動自体は存続しており、安定した活動が行われている。会食会は13単位町内会(実施率約72%)で実施することができた。	4	○今後も今ある活動を継続しつつ、より実施を広げていくことを目指す。
②知る (学ぶ)	○サロンや会食会の実施により、地域の中に交流が生まれ、実情を把握することにつながった。	4	○地域に必要な場として今後も推進していく。
③つながる	○地域包括支援センターの職員にも参加してもらうことで、関係機関との関わりを深めることができた。	3	○関係機関や団体にも協力をもらい、つながりをつくりながらより良い活動の展開を目指していく。
④伝える	○会食会時に共同募金配分金による助成の周知を依頼しており、座談会でもサロンや会食会について紹介することができた。	3	○地域住民に広く知ってもらうよう、今後も町内会に協力をもらいPRを図る。
⑤高める	○サロンも会食会も地域における貴重な居場所、ふれあいの機会として定着しており、必要な場となっている。	4	○今後も継続して活動を推進していく。



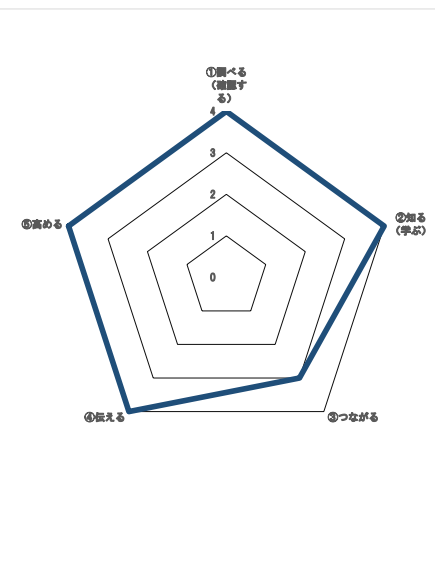
生活環境の整備(空き家の有効活用、除雪やゴミ出し等ちょっとしたことの支援)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	○鍵預かりサービスを行うことができた。(利用者4名、事業協力員52名) ○校区計画に定める空き家の活用や、ちょっとした生活支援については未実施だが、校区推進委員会では実施に向け熱心な意見交換が行えた。	3	○鍵預かりサービスについては継続して行っていく。 ○登別地区の実情に合った生活環境整備の仕組みを考えながら、校区推進委員会等を通し検討を重ねていく。
②知る (学ぶ)	○未実施ではあるが、ちょっとした生活支援について、校区推進委員会や座談会の場で意見を深めることができた。	3	○今後も実現に向け、住民の意見も踏まえながら検討していく。
③つながる	○鍵預かりサービスにより、校区内の施設とのつながりが生まれている。	3	○今後も関係機関と連携しながら、事業を進めていく。
④伝える	○座談会の中で鍵預かりサービスの紹介ができ、他校区の生活支援事業についても伝えることができた。	3	○校区の生活環境整備の必要性を広く地域に伝え、共に考えていく必要がある。
⑤高める	○鍵預かりサービスの実施により、地域間の関係性づくりや、安全の担保につながった。	2	○地域をより良くする活動として、鍵預かりサービスは今後も継続して行い、その生活環境整備の取り組みについても検討を図っていく必要がある。



人材育成(お茶の間会議の実施)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	○お茶の間会議の開催により、中学生との意見交換や想いの共有を図ることができた。	4	○学校とも連携しながら、今後も行っていく。
②知る (学ぶ)	○地域の実情や福祉活動について、いっしょに学ぶ機会となった。	4	○今後も地域や福祉について、同じ地域の住民として学び考えることのできる機会とする。
③つながる	○中学校関係者とつながりを持ちながら、お茶の間会議を実施することができた。	3	○学校と連携しながら今後も行っていく。必要に応じ、その他の関係機関、団体等との連携も図っていく。
④伝える	○お茶の間会議の中で、中学生に校区活動について伝えることができた。	4	○若い世代にきずな活動や校区の福祉活動を伝える機会として実施していく。
⑤高める	○世代を超えた交流により、中学生にも地域や福祉について身近に感じ、考えてもらう機会となった。	4	○世代を超えて地域住民が関わることのできる貴重な機会として、今後も実施していく。



校区きずな推進委員会 委員

リーダー	田畑 恒義	きずな推進委員	吉岡 政美	きずな推進委員	飯島 武
サブリーダー	桶屋 純一	きずな推進委員	成田 光男	きずな推進委員	山口富智子
サブリーダー	伊藤 芳雄	きずな推進委員	田代 健二	きずな推進委員	柳瀬 雅俊
きずな推進委員	日野 安信	きずな推進委員	勝間 広靖	きずな推進委員	和田 卓士
きずな推進委員	中川 信市	きずな推進委員	須賀 武郎	きずな推進委員	太田 憲明
きずな推進委員	畠山 基子				

1. 校区活動

時期	名称	人数	内容
6月9日	第1回登別小学校校区きずな推進委員会	8名	平成28年度における第3期校区きずな計画の評価について 今年度の第3期校区きずな計画取り組み内容について 今後のスケジュールについて
12月12日	第2回登別小学校校区きずな推進委員会	8名	住民座談会の開催について
2月20日	登別小学校校区住民座談会	34名	「きずな」とは ”助け合い”が必要な背景(高齢者編) ”のぼりべつ”の今とこれから 「きずな」事業(生活支援編) ワークショップ「生活の不便の解消に向けて」
3月19日	お茶の間会議in登別中学校	54名	授業体験 給食 ワークショップ「のぼりべつのために、私・私たちにはこんなことができる!!」

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

登別温泉地区連合町内会	登別東町2町会	登別東町第5町会
中登別町内会	登別東町第三町会	登別本町会
登別東町一町会	登別東町第4町会	登別本町2町会

実施率 72.2% (13 / 18)

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会)

ふれあい・いきいきサロン

みどり会
登別東町第三町会ふれあいサロン
ふれあいサロン花園

ふれあい会食会

登別温泉地区連合町内会	登別東町2町会	登別東町第五町会
中登別町内会	登別東町第三町会	登別本町会
登別東町一町会	登別東町第4町会	登別本町2町会

実施率 72.2% (13 / 18)